令 和 ６ 年 度

大 学 院 保 健 看 護 学 研 究 科

保健看護学専攻（博士前期課程）

保健看護学専攻（博士後期課程）

学　生　募　集　要　項

Ａ 日 程 試 験	
出 願 期 間	令和５年　７月１０日（月）～令和５年　７月２１日（金）
入学試験日	令和５年　８月２５日（金）
合 格 発 表	令和５年　９月　８日（金）
Ｂ 日 程 試 験	
出 願 期 間	令和５年１２月　４日（月）～令和５年１２月１５日（金）
入学試験日	令和６年　１月２６日（金）
合 格 発 表	令和６年　２月　７日（水）

京都府公立大学法人

京都府立医科大学大学院
保 健 看 護 学 研 究 科

＝　目　次　＝

アドミッションポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

学生募集要項

１　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
２　受験に至る手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３　入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
４　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
５　出願資格の認定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
６　研究領域、本学特別研究単位認定教員との事前相談　・・・・・・・・・・　6
７　身体等に障害のある入学志望者との事前相談　・・・・・・・・・・・・・　6
８　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
９　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
１０ 入学手続等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
１１ 留意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
１２ その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
所定の用紙（事前相談等連絡票＜博士前期課程＞）　・・・・・・・・・・　11
所定の用紙（事前相談等連絡票＜博士後期課程＞）　・・・・・・・・・・　12

博士前期課程の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
教育目的、教育課程、履修方法、修了要件、学位の名称、長期履修制度
◇精神看護専門看護師コースを開設予定
表１　教育課程（授業科目と担当教員）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
表２　がん看護専門看護師コースの教育課程表　・・・・・・・・・・・・・・　16
表３　保健看護学研究科博士前期課程研究領域・担当教員一覧・・・・・　17

博士後期課程の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
教育の理念と目的、教育課程、履修方法、修了要件、学位の名称、長期履修制度
表１　教育課程（授業科目と担当教員）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
表２　保健看護学研究科博士後期課程特別研究単位認定教員一覧・・・・　21

アドミッションポリシー

保健看護学研究科博士前期課程

『求める学生像』

1　高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
2　豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
3　自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
4　不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、人々が生活する地域社会において高度医療に対応できる質の高い看護を提供できる学生を求める。

本学の入試では、看護学の共通領域および研究領域の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志願理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

保健看護学研究科博士後期課程

『求める学生像』

1　保健看護学の専門的知識を基盤に、臨床および教育現場で活用可能な理論と方法論の創出に貢献する意欲のある人
2　地域社会において保健・医療サービスを提供するためのシステムの構築およびマネジメントに貢献する意欲のある人
3　専門職としての高度で専門的な知識と技術、高い倫理観に裏付けられた看護実践や教育の推進に意欲のある人
4　不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、指導者、管理者、教育者、研究者として国際的に保健医療活動に貢献できる人を求める。

本学の入試では、共通科目および専門科目の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志望理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

[学生募集要項]

【１】　募 集 人 員　※社会人としての入学生含む。

本学では、働きながら学びたいという意欲と能力を持った志願者のニーズに応えるため、社会人も受け入れています。社会人として入学した学生に対しては、個別状況に沿えるような授業・研究指導を行うよう配慮しています。

課 程 名	専　攻　名	募 集 人 員
博士前期課程	**保 健 看 護 学 専 攻**	【Ａ日程試験】８名 【Ｂ日程試験】若干名

・**「がん看護専門看護師コース」を併設しています。**

一般社団法人日本看護系大学協議会（高度実践看護師教育課程認定委員会）において、３８単位課程認定済。

・　大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学を卒業していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することが可能です。

課 程 名	領域・分野名	募 集 人 員
博士後期課程	**保 健 看 護 学 領 域** **・基盤実践保健看護学分野** **・広域実践保健看護学分野**	【Ａ日程試験】３名 【Ｂ日程試験】若干名

・　大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学院修士課程を修了していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することが可能です。

【２】　受験に至る手続き

（１）**出願資格の確認**（３～５頁参照）

出願資格認定を必要とする者は、次の期間内に手続きを行ってください。

認定申請期間

【Ａ日程試験】令和５年　５月２６日（金）～令和５年　６月２３日（金）

【Ｂ日程試験】令和５年１０月１６日（月）～令和５年１１月１３日（月）

（２）**博士前期課程　研究領域等についての事前相談**（６頁参照）

博士後期課程　本学特別研究単位認定教員との事前相談（６頁参照）

事前相談期間

【Ａ日程試験】令和５年　５月２６日（金）～令和５年　７月１４日（金）

【Ｂ日程試験】令和５年１０月１６日（月）～令和５年１２月　８日（金）

（３）**出願手続**（６～８頁参照）

出願期間

【Ａ日程試験】令和５年　７月１０日（月）～令和５年　７月２１日（金）

【Ｂ日程試験】令和５年１２月　４日（月）～令和５年１２月１５日（金）

【３】　入学者選抜方法

（１）試験科目等

①　筆記試験

以下の２科目の両方を解答するものとします。

・共通科目［総合問題及び英語］

・専門科目［出願した研究分野に関する問題］

（博士前期課程は１７頁、博士後期課程は２１頁参照）

※英語の試験が含まれる共通科目では、本学が貸与する英和辞書の使用を認めます。（貸与する辞書以外、試験会場への辞書の持ち込みは不可）

②　面接試験

博士前期課程

指導的・実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価します。

博士後期課程

出願者が希望する研究課題に関するプレゼンテーション（10分以内）及び本学面接実施教員との口頭試問で構成し、この中で指導的・実践的な高度専門職者となるに相応しい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価します。

※プレゼンテーションを行うに当たり、パワーポイントの使用を希望する場合は、入学志望理由書（様式４）の「面接試験時におけるパワーポイント使用の有無」欄中、「使用する」を〇で囲んでください。

（２）試験日程

試　験　日	科　　目	時　　間
（Ａ日程試験） 令和５年８月２５日（金） （Ｂ日程試験） 令和６年１月２６日（金）	筆記試験	
	共通科目（英語）	9:00～10:00（60分）
	共通科目（総合問題）	10:10～11:10（60分）
	専門科目	11:30～12:30（60分）
	面接試験＜博士前期課程＞	13:40～
	＜博士後期課程＞	15:30～

（３）入学試験場

京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町４１０　（裏表紙参照）

【４】　出 願 資 格

博士前期課程

次の（１）～（12）のいずれかに該当する者とします。

（１）　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者及び入学前年度の３月卒業見込みの者

（２）　学校教育法第 104 条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学前年度の３月までに授与される見込みの者

（３）　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学前年度の３月までに修了見込みの者

（４）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学前年度の３月までに修了見込みの者

（５）　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学前年度の３月までに修了見込みの者

（６）　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学前年度の３月までに修了見込みの者

（７）　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学前年度の３月までに修了見込みの者

（８）　文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年文部省告示第５号）及び入学前年度の３月までにそれに該当する見込みの者

（９）　本学医学部医学科に４年以上在籍し、124 単位以上修得した者

(10)　学校教育法第 102 条第２項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(11)　大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(12)　その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び入学前年度の３月までに 22 歳に達する者

※　(10)（11）（12）により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせて下さい（５頁参照）。

※　(10)（11）（12）により出願しようとする者は、原則として実務経験を３年程度有していることが必要です。

※　公益社団法人日本看護協会のがん看護専門看護師認定審査にあたっては、「看護師免許取得後、実務研修が通算５年以上あり、そのうち通算３年以上は専門看護分野の実務研修であること。」が必要となっています。

博士後期課程

次の（１）～（４）のいずれかに該当する者又は（１）～（３）のいずれかに入学前年度の３月３１日までに該当する見込みのある者とします。

（１）　修士の学位又は専門職学位を有する者

（２）　外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者

（３）　文部科学大臣の指定した者

（４）　保健看護学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学前年度の３月３１日現在において24歳以上の者

※　（４）により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせてください（５頁参照）。

【５】　出願資格の認定

出願資格の認定を受けて出願しようとする者は、次により必ず事前に出願資格の認定を申請してください。

ただし、認定申請の前に必ず、

博士前期課程は、研究領域等についての事前相談、

博士後期課程は、本学特別研究単位認定教員との事前相談

を行う必要があります。（６頁参照）

（１）申請期間

【Ａ日程試験】令和５年　５月２６日（金）～令和５年　６月２３日（金）

【Ｂ日程試験】令和５年１０月１６日（月）～令和５年１１月１３日（月）

（※期間内に必着のこと。申請期間後に到着した場合は受理しない。）

（２）申請先

〒602－8566　京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

（３）申請書類

次の書類を申請期間内に到着するように**郵送又は持参**により提出してください。

（直接持参する場合、受付時間は土日祝を除く平日の午前９時から午後４時まで）

博士前期課程

申請書類等	内　　容
ア　出願資格認定申請書	本学所定の用紙（様式１）に必要事項を明記したもの。
イ　出願資格認定志望書	本学所定の用紙（様式２）に必要事項を明記したもの。
ウ　卒業（見込）証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。
エ　成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。
オ　看護師等免許証(写し)	実務経験が看護職者（保健師、助産師、看護師）としてのものである場合に提出が必要です。（**Ａ４版**のコピーとすること）
カ　在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書
キ　返信用封筒	角形２号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、**Ａ日程４４０円切手、Ｂ日程４７０円切手を貼付**したもの。**簡易書留郵便**

博士後期課程

申請書類等	内　　容
ア 出願資格認定申請書	本学所定の用紙（様式１）に必要事項を明記したもの。
イ 出願資格認定に係る志望理由書	本学所定の用紙（様式２）に必要事項を明記したもの。
ウ 卒業証明書［学部］	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。
エ 成績証明書［学部］	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
オ 既発表の研究論文(写)	筆頭著者として学術雑誌に掲載された研究論文のコピー１編以上
カ 返信用封筒	角形２号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、**Ａ日程４４０円切手、Ｂ日程４７０円切手を貼付**したもの。**簡易書留郵便**

（４）認定審査結果書類

出願資格認定に係る審査の結果は、本人あて書面で通知します。

【６】　博士前期課程　研究領域等についての事前相談
博士後期課程　本学特別研究単位認定教員との事前相談

すべて入学志望者は、出願に先立ち、前記の事前相談が必要です。

ついては、次の連絡先まで、事前にメールまたはＦＡＸにより送信・連絡の上、相談日時を予約してください。

なお、連絡の際は、本学所定の用紙（１１頁・１２頁）を使用してください。

（連　絡　先）　京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

メール：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp　　ＦＡＸ：(075)251－5216

（事前相談期間）

【Ａ日程試験】令和５年　５月２６日（金）～令和５年　７月１４日（金）

【Ｂ日程試験】令和５年１０月１６日（月）～令和５年１２月　８日（金）

※　相談日時は、土日祝を除く平日の午前９時から午後５時までです。

※　担当教員の都合により、必ずしも希望する日時とならない場合があります。

【７】　身体等に障害のある入学志望者との事前相談

身体等に障害のある入学志望者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、下記相談期間中に本学事務局教育支援課入試係まで文書（任意様式）で照会してください。

（事前相談期間）

【Ａ日程試験】令和５年　５月２６日（金）から令和５年　６月２３日（金）まで

【Ｂ日程試験】令和５年１０月１６日（月）から令和５年１１月１３日（月）まで

【８】　出 願 手 続

（１）出願期間

【Ａ日程試験】令和５年　７月１０日（月）から令和５年　７月２１日（金）まで

【Ｂ日程試験】令和５年１２月　４日（月）から令和５年１２月１５日（金）まで

※この期間の消印のある簡易書留郵便に限り受け付けます。

（２）出願書類提出先

〒602－8566　京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町４６５

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

（３）出願書類

次の書類を本学所定の封筒に入れ、出願期間内に「簡易書留郵便」で送付してください。郵送以外の方法により出願した場合は受理しません。

※　提出書類等の氏名は、通称や略字などを使用せず、戸籍簿（外国人の場合は外国人登録をした氏名で通称名を除く。）に記載のとおりに記入してください。

博士前期課程

提出書類	内　　容
①入学志望書	本学所定の用紙（様式３－１）に必要事項を明記したもの。
②入学志望理由書	本学所定の用紙（様式４）に必要事項を明記したもの。
③受験票及び照合票	本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前３箇月以内に撮影した、縦４㎝・横３㎝の脱帽、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼付してください。 なお、写真裏面には氏名を記入してください。 ※　受験票及び照合票の写真は、同一のものを貼付してください。
④卒業（見込）証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。 ※　出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する証明書を提出してください。
⑤成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。 ※　出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する成績証明書を提出してください。 ※　大学以外で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の成績証明書も併せて提出してください。
⑥在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書（がん看護専門看護師コースの受験者のみ）
⑦出願資格認定審査結果通知書写	出願資格認定を受けて出願する者は、本学から通知の「審査結果（通知書）」のコピーを提出してください。 ※　この場合、上記④⑤⑥は不要です。
⑧入学考査料	３０，０００円 本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込んでください。その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書（大学提出用）C票」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼付してください。 ※　現金、小切手等では一切受け付けません。
⑨返信用封筒（受験票返送用封筒）	本学所定の封筒に、入学志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、**Ａ日程４０４円切手、Ｂ日程４３４円切手**を添付してください。**簡易書留郵便**
⑩あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入してください。 なお、合格通知の際に使用しますので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入してください。

博士後期課程

提出書類	内　　容
①入学志望書	本学所定の用紙（様式３－２）に必要事項を明記したもの。
②入学志望理由書	本学所定の用紙（様式４）に必要事項を明記したもの。
③受験票及び照合票	本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前３箇月以内に撮影した、縦４㎝・横３㎝の脱帽、正面、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼付してください。また、写真裏面には氏名を記入してください（受験票及び照合票の写真は、同一のものを使用すること。）。
④修了(見込)証明書	［修士課程又は博士前期課程］ 出身大学の学長又は研究科長が作成したもの。
⑤成績証明書	［修士課程又は博士前期課程］ 出身大学の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの。
⑥出願資格認定審査結果通知書（写）	出願資格認定を受けて出願する者に限り、本学から通知の「審査結果(通知書)」のコピーを提出してください。 ※ この場合、上記④、⑤の提出は不要です。
⑦入学考査料	３０，０００円 **本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込んでください。** その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書（大学提出用）C票」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼付してください。 ※　本学保健看護学研究科修士課程を入学前年度の３月３１日までに修了見込みである者は不要です。 ※　現金、小切手等では一切受け付けません。
⑧返信用封筒（受験票返送用）	本学所定の封筒に、入学志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、**Ａ日程４０４円切手、Ｂ日程４３４円切手**を貼付してください。**簡易書留郵便**
⑨あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入してください。 なお、合格通知の際に使用しますので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入してください。

【９】　合格発表

（１）　日　　時

【Ａ日程試験】令和５年９月８日（金）　午前１０時００分

【Ｂ日程試験】令和６年２月７日（水）　午前１０時００分

（２）　場　　所

京都府立医科大学河原町キャンパス内掲示板に掲示するとともに、合格者に通知し、併せて入学手続に必要な書類を送付します。また、本学ホームページにも、上記合格発表日時以降に合格者の受験番号を掲載しますが、あくまでホームページでの情報提供は参考情報です。合否の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、ＦＡＸ等による合否の問合せには、一切応じません。

本学ホームページアドレス　：　https://www.kpu-m.ac.jp/

【１０】 入 学 手 続 等

（１） 日　　時

【Ａ日程試験】令和５年９月２１日（木）、２２日（金）　午前９時～午後４時
【Ｂ日程試験】令和６年２月１４日（水）、１５日（木）　午前９時～午後４時

※上記日時に手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

（２） 場　　所

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
（京都府立医科大学　河原町キャンパス　基礎医学学舎２階）

（３） 入学手続に必要なもの等

合格者に対しては、合格通知の際に入学手続に必要な事項をお知らせしますが、上記入学手続日に最低限必要なものは次のとおりです。

ア　入学料　282,000 円
イ　誓書（本学所定の用紙）

（注）① 入学料は改定される場合があります。
② 入学料納入方法は合格通知の際にお知らせします。
③ 納入した入学料は、返還しません。
④ 郵送による入学手続は受け付けません。
⑤ 授業料は入学後に別途指示します。（年額 535,800 円を２期（前期、後期）に分けて納付してください。但し、金額は改定される場合があります。）

（博士前期課程）

⑥ 入学前年度の３月３１日卒業見込みで受験した者は、卒業証明書及び成績証明書を卒業後速やかに提出してください。

（博士後期課程）

⑥ 入学前年度の３月３１日までに修士課程又は博士前期課程を修了見込みで受験した者は、修了証明書及び成績証明書を修了後速やかに提出してください。
⑦ 入学前年度の３月３１日までに本学の保健看護学研究科博士前期課程を修了し、引き続き、博士後期課程に進学する者については、入学料は不要です。

【１１】 留 意 事 項

（１） 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。
（２） 書類受理後の記載事項の変更は認めません。
（３） 書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
（４） 受信場所を変更したときは、直ちに届け出てください。
（５） 受理した書類及び入学考査料は返還しません。
（６） 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備の目的において、「京都府公立大学法人における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱います。

【１２】　その他の注意事項

（1）　試験会場の下見は許可しません。

（2）試験当日、合否電報等を扱っている者があっても、本学とは何ら関係がありませんので、一切責任は負いません。

（3）受験上の注意事項は次のとおりです。

①　試験当日は、必ず受験票を持参し、試験の際、机の上に置いてください。

②　試験当日は、所定の時刻（受験票に記載）までに試験室の座席に着席してください。

③　試験開始時刻に遅れた場合は、試験場の監督者に申し出て指示を受けてください。１５分以内の遅刻者は、やむを得ない理由がある場合に限り受験を許可しますが、その他は一切許可しません。

④　試験問題についての質問及び受験生の私語は一切許しません。

⑤　試験室では、特に指定のあったものを除き、受験票、黒鉛筆、黒色のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（時計機能のみのものに限ります。また、辞書、電卓等の機能がないか判別しづらいものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（箱又は袋から中身だけ取り出したもの）、予備のマスク以外は机の上に置いてはいけません。

⑥　解答には黒以外の鉛筆、シャープペンシルを使用してはいけません。

⑦　携帯電話・スマートフォン等は、試験室に入る前に電源を切り、かばん等に入れてください。

博士前期課程

事前相談等連絡票

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻（博士前期課程）
令和６年度入学志望者：事前相談等連絡票

貴大学院の令和６年度入学を志望するにあたり、以下のとおり、事前相談を希望しますので、よろしくお願いします。

ふりがな 氏名		年齢	歳	性別	
連絡先	〒 TEL：自宅　　-　　-　　携帯　　-　　- FAX：　　-　　-				
志望先	出願資格		研究領域	教員名	
		第１志望			
		第２志望			
事前相談希望日時	第１希望	令和　年　月　日（　）　午前・午後　　時　　分 ～			
	第２希望	令和　年　月　日（　）　午前・午後　　時　　分 ～			
	第３希望	令和　年　月　日（　）　午前・午後　　時　　分 ～			

（注１）　上記太線枠内を記入の上、メールまたはＦＡＸにより送付してください。（やむをえない場合は郵送可）
　なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認してください。

送付先：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp
ＦＡＸ番号：０７５－２５１－５２１６

〒602-8566　京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
TEL　075-251-5167

（注２）「年齢」は、令和６年４月１日現在のものを記入してください。
（注３）「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ（携帯電話を含む）を記入してください。
（注４）「志望先」の「出願資格」は３～４頁を参考の上、該当する番号を記入してください。
（注５）「志望先」の「研究領域」「教員名」は１７頁を参考の上、志望する研究領域及び教員名を記入してください。（第２志望については、志望する場合のみ記入すること。）
（注６）「事前相談希望日時」は、土日祝を除く９時から１７時の間で、記入してください。

※　本書式は、本学ホームページ https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/hokenkango.html から入手可能です。

博士後期課程

事前相談等連絡票

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻（博士後期課程）
令和６年度出願志望者

貴大学院の令和６年度入学を志望するにあたり、以下のとおり事前相談を希望しますので、よろしくお願いします。

ふりがな 氏　　名		年齢	歳	性別	
連　絡　先	〒 TEL：自宅　　-　　-　　携帯　　-　　- FAX：　　-　　-				
志望内容	出願資格	出願志望研究分野名	教　員　名		
事前相談希望日時	第１希望	令和　年　月　日（　）午前・午後　時　分 ～			
	第２希望	令和　年　月　日（　）午前・午後　時　分 ～			
	第３希望	令和　年　月　日（　）午前・午後　時　分 ～			

（注１）　上記太線枠内を記入の上、メールまたはＦＡＸにより送付してください。（やむをえない場合は郵送可）

なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認してください。

送信先：**メールアドレス**：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp
ＦＡＸ番号：０７５－２５１－５２１６

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
TEL　075-251-5167

（注２）「年齢」は、令和６年４月１日現在のものを記入してください。
（注３）「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ（携帯電話を含む）を記入してください。
（注４）「出願資格」は４頁を参考の上、該当する番号を記入してください。
（注５）「出願志望専攻分野名」及び「教員名」は２１頁を参考の上、記入してください。
（注６）「事前相談希望日時」は、土日祝を除く９時から１７時の間で、記入してください。

※　本書式は、本学ホームページ　https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/hokenkango.html から入手可能です。

保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

【教育目的】

保健看護学研究科では、高齢化や京都府北部の医療問題や高度医療の享受のために、高度な看護実践能力と管理能力、社会に求められる保健看護学における研究の探究を特色とする。本研究科の教育・研究は、現代の多様な保健・医療のニーズに対応し、複雑化する疾病の予防と地域住民の健康増進に寄与することを目的としている。

本課程では以下の能力を涵養し、地域社会において貢献できる人材を育成する。

1　府北部、中部地域における高齢化した農山村地域で必要とされる高度な看護実践能力と、地域で有用な地域包括医療の推進に寄与できる管理能力

2　高い倫理観を持ち、豊かな人間性と広く社会的な視点から、高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力と管理指導能力

3　高度な学識と医療を結びつけ、保健看護学の発展に寄与できる研究能力

【教育課程の概要】

1　教育課程

共通科目と専門科目から編成され、共通科目には専門科目を支える科目を配置している。専門科目には、保健看護学教育・研究者や、高度看護実践指導者（がん専門看護師を含む）となるための科目を設定し、学生がそれぞれの希望進路に合わせて選択できるように配慮した。（表１参照）

2　履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように 30 単位以上を修得しなければならない。

（１）履修科目と修得単位

ア　共通科目は、必修科目２科目及び選択科目２科目以上を履修し、計８単位以上修得する。

イ　専門科目は、12 単位以上、特別研究・演習・実習で計 10 単位以上を修得する。

なお、がん看護専門看護師コースについては、38 単位課程として日本看護系大学協議会の認定を受けている。学生は、希望する課程に応じ、各教育課程表（表２参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する。

（２）研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

3　修了要件

（１）修了年限

修業年限は２年とする。但し、在学期間は４年を超えることができない。

（２）修了要件

修了要件は、共通科目８単位以上、専門科目 22 単位以上を履修し、計 30 単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

なお、がん看護専門看護師コースについては、各教育課程表（表２参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する他、大学院必修科目を修得し、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することが必要である。

４　学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

保健看護学専攻　修士（保健看護学）

Graduate School of Nursing for Health Care Science, Master of Nursing for Health Care Science

である。

５　長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（２年）を超えて一定の期間（最長４年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、教育支援課入試係（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

◇　精神看護専門看護師コースを開設予定

令和６年度にがん看護専門看護師コースに加えて、精神看護専門看護師コースの開設を予定しています（日本看護系大学協議会に申請中）。サブスペシャリティとして、「地域精神看護」または「リエゾン精神看護」のいずれかを選択できます※。

精神看護専門看護師コースは、共通科目Ａから８単位以上、共通科目Ｂから６単位以上、精神看護分野共通科目から 12 単位以上、精神看護分野専攻科目から２単位以上、実習科目 10 単位以上、合計 38 単位以上の科目群から構成されます。加えて課題研究として２単位を修得します。研究科目の修得により、将来的に博士後期課程で学ぶ研究の基礎力も身につけることができます。

本学では、精神看護専門看護師資格を有する専任教員が、豊富な臨床経験を持つ実習機関の精神看護専門看護師と協働して実習指導を行います。また、医科大学であり、大学附属病院を有する特徴を活かし、充実した教授陣から最新の精神医学および関連領域の医学や精神科治療も学ぶことができます。

詳しい科目や授業内容は、担当教員にお尋ねください（郷良淳子　jgora@koto.kpu-m.ac.jp）。

※　令和６年度申請から、精神看護専門看護師のサブスペシャリティは、「救急・急性期精神看護」、「地域精神看護（慢性期、依存症、児童思春期、精神科訪問看護、認知症、その他の内容を含む）」および、「リエゾン精神看護」に分類されます。

表１　教育課程（授業科目と担当教員）

区分	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	単位数 CNSコース 必修	単位数 CNSコース 選択	学期	修了件 要履修単位	担当教員名（◎は主担当教員を示す）	備考
共通科目	[1] 保健看護学理論	2		2		前期	8単位以上	◎志澤美保、毛利貴子、占部美恵、吾妻知美、本田順子	
	[2] 研究方法論特論	2		2		前期		◎松岡知子、志澤美保、郷良淳子、室田昌子	
	[3] 保健看護情報科学特論		2		2	前期		浅野弘明	
	[4] 保健福祉政策特論		2		2	後期		◎志澤美保、上掛利博、千葉圭子、池田裕子	
	[5] 看護教育学特論		2		2	前期		◎滝下幸栄、川上祐子、山本裕子、筒井佳澄	
	[6] 看護倫理		2		2	後期		◎松岡知子、郷良淳子、瀬戸山晃一、吉岡さおり、毛利貴子、室田昌子、（　　）	
	[7] 看護管理論		2		2	前期		令和5年度は不開講	
	[8] コンサルテーション論		2		2	後期		◎郷良淳子、占部美恵、梅田恵	
	[9] 看護政策論		1		1	後期		◎滝下幸栄、豊島博子、瀬戸奈津子	
	[10] 英書講読		2		2	前期		Jason Barrows	
	小計（１０科目）	4	15	4	15				
専門科目	[11] 健康増進支援技術特論		2		2	後期	12単位以上	◎志澤美保、村上佳栄子	
	[12] 地域保健看護学特論		2		2	前期		志澤美保	
	[13] 高齢者保健看護特論		2		2	前期		◎毛利貴子、伊藤尚子、川上祐子	
	[14] 女性保健看護学特論		2		2	後期		◎松岡知子、吉岡友香子、前田絢子	
	[15] 高齢者ケア特論		2		2	後期		◎毛利貴子、伊藤尚子、川上祐子、鈴木　聡	
	[16] 看護管理特論		2		2	後期		令和5年度は不開講の予定	
	[17] ヘルスアセスメント特論		2	2		後期		◎（　　）、山本容子、郷良淳子、島田順一、毛利貴子、滝下幸栄、筒井佳澄	
	[18] 健康回復支援技術特論		2		2	後期		◎（　　）、滝下幸栄、山本容子、筒井佳澄	
	[19] 成人健康回復期支援特論Ⅰ		2		2	前期		◎室田昌子、吉岡さおり、佐伯良子、山田親代	
	[20] 成人健康回復期支援特論Ⅱ		2		2	後期		◎吉岡さおり、室田昌子、山本裕子	
	[21] 精神保健看護学特論		2		2	前期		◎郷良淳子、占部美恵、福田弘子	
	[22] 発達障害特論		2		2	後期		森本昌史	
	[23] 小児看護特論		2		2	後期		◎原田清美、山口未久	
	[24] 臨床遺伝学特論		2		2	後期		島田順一	
	[25] 病態生理学総論		2	2		前期		◎島田順一、楠木泉、森本昌史	
	[26] 腫瘍病態生理学各論		2	2		後期		◎島田順一、楠木泉、森本昌史	
	[27] 臨床薬理作用論		2	2		後期		◎島田順一、四方敬介、清水大生、田渕祐輔、青戸和宏、池田ゆり絵、岡本純香、大槻愛未、幸前里奈、柴田かおり、山本容子	
	[28] がん看護学特論		2	2		前期		◎吉岡さおり、林容子、藤田かおり	
	[29] がん看護学援助特論		2	2		後期		◎林容子、吉岡さおり、鈴木弦、田村恵子、作田裕美	
	[30] 緩和ケア		2	2		後期		◎林容子、吉岡さおり、郷良淳子、天谷文昌、田村恵子、尾下玲子	
	[31] がん薬物療法看護		2	2		通年		◎林容子、吉岡さおり、滝下幸栄、越智幾世、吉田直久、森本健司、村木明美、神林祐子	
	小計（２１科目）		42	16	26				
特別研究・演習・実習	[32] 特別研究	8					10単位以上	松岡知子、森本昌史、島田順一、楠木泉、志澤美保、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、室田昌子、滝下幸栄、原田清美、伊藤尚子、林容子、山本容子、占部美恵	
	[33] 専門演習	2							
	[34] がん看護学演習Ⅰ			2		前期		◎林容子、吉岡さおり、室田昌子、上野博司、白井由紀	
	[35] がん看護学演習Ⅱ			2		後期		◎林容子、吉岡さおり、滝下幸栄、越智幾世、石川剛、吉田直久、神林祐子	
	[36] がん看護学課題研究			2				◎吉岡さおり、林容子	
	[37] がん看護学実習Ⅰ			2		前期		◎吉岡さおり、林容子、服部美景	
	[38] がん看護学実習Ⅱ			2		前期		◎吉岡さおり、林容子、越智幾世、吉岡とも子、服部美景、藤田かおり	
	[39] がん看護学実習Ⅲ			2		前期		◎林容子、吉岡さおり、越智幾世	
	[40] がん治療看護実習Ⅰ			2		後期		◎林容子、吉岡さおり、滝下幸栄、室田昌子、越智幾世、吉岡とも子、石川剛、吉田直久	
	[41] がん治療看護実習Ⅱ			2		前期		◎林容子、吉岡さおり、上野博司、越智幾世、吉岡とも子、尾下玲子	
	小計（１０科目）	10		16					
合計（４１科目）		14	57	36	41	30単位以上			

表２　がん看護専門看護師コースの教育課程表　（３８単位課程相当※）

科目区分 （必要履修単位）	大学院該当科目	必修 選択	単位数	配当学年				備　考
				1学年		2学年		
				前期	後期	前期	後期	
専門看護師 共通科目A （8単位以上）	[1] 保健看護学理論	必修	2	2				
	[2] 研究方法論特論	必修	2	2				
	[5] 看護教育学特論	選択	2	2				
	[6] 看護倫理	選択	2		2			
	[7] 看護管理論	選択	2	2				
	[8] コンサルテーション論	選択	2		2			
	[9] 看護政策論	選択	1	1				
専門看護師 共通科目B （6単位以上）	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
	[25] 病態生理学総論	必修	2	2				
	[27] 臨床薬理作用論	必修	2		2			
がん看護共通科目 （6単位以上）	[26] 腫瘍病態生理学各論	必修	2		2			
	[28] がん看護学特論	必修	2	2				
	[29] がん看護学援助特論	必修	2		2			
がん看護専門科目 （8単位以上）	[30] 緩和ケア	必修	2		2			
	[31] がん薬物療法看護	必修	2	2				
	[34] がん看護学演習Ⅰ	必修	2	2				
	[35] がん看護学演習Ⅱ	必修	2		2			
がん看護実習科目 （10単位以上）	[37] がん看護学実習Ⅰ	必修	2	2				
	[38] がん看護学実習Ⅱ	必修	2			2		
	[39] がん看護学実習Ⅲ	必修	2			2		
	[40] がん治療看護実習Ⅰ	必修	2		2			
	[41] がん治療看護実習Ⅱ	必修	2			2		
大学院必修科目	[36] がん看護学課題研究	必修	2	2				

※上記38単位課程は、一般社団法人日本看護系大学協議会において認定されたものである。
（認定日：2017年1月9日、有効期間：2017年4月～2027年3月）

表３　保健看護学研究科博士前期課程 研究領域・担当教員一覧

研　究　領　域	職　位	担　当　者	備考
臨床健康科学	教授	島田　順一	
小児発達保健学	教授	森本　昌史	
女性生涯保健学	教授	楠木　泉	
基礎看護学	准教授	滝下　幸栄	
	講師	山本　容子	
成人看護学	教授	吉岡さおり	
	准教授	室田　昌子	
	准教授	林　容子（兼）	
がん看護学	教授	吉岡さおり(兼)	
	准教授	林　容子	
精神看護学	教授	郷良　淳子	
	講師	占部　美恵	
小児看護学	准教授	原田　清美	
母性看護学・助産学	教授	松岡　知子	
老年・在宅看護学	教授	毛利　貴子	
	准教授	伊藤　尚子	
地域看護学	教授	志澤　美保	

※　各教員の研究内容は、本学ホームページ
https://www.kpu-m.ac.jp/doc/depatment/hoken-kango/　を参照のこと。

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程の概要

【教育の理念と目的】

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程では、社会の基盤となる健康的な地域づくりを支えるための看護実践に活用可能な理論構築やシステム開発を目指し、科学的な思考に基づいた京都府内や北部医療の看護ケアニーズを解決するための看護教育を通して地域からの付託に応えるとともに、高度な専門的知識と技術の発展に寄与し、より高度かつ先進的な教育・研究を推進する府内の教育中枢機関として機能することを理念に掲げる。

本学博士課程においては、「専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとする」ことを教育・研究上の目的としており、これを受け本課程では、従来からの医学研究科との連携をさらに強化することで、少子高齢社会など現代社会における医療問題の解決に向け、倫理性且つ論理性に裏付けられた質の高い保健や看護を提供するため、高度な研究能力と実践能力、教育能力の涵養を通じて、広域的な指導力を発揮できる高度な専門職業人及び学際的展開を図りうる保健看護学の教育・研究者の養成をその目的とする。

【教育課程の概要】

１　教育課程

共通科目として「研究方法論特別講義」、「生命・医療倫理特別講義」、「統計方法論特別講義」の必修３科目、専門科目に選択科目である「基盤実践保健看護学特別講義」「広域実践保健看護学特別講義」並びに必修科目である「保健看護学特別演習」及び「特別研究」を配置することで、これらの学修を通じて、高邁な倫理観を身につけるとともに、専攻分野に関して自立した教育研究や実践活動を行うに必要な能力とその基礎となる豊かな学識を涵養する。

２　履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように１６単位以上を修得しなければならない。

（１）履修科目と修得単位

ア　共通科目は、必修科目３科目を履修し、計６単位を修得する。

イ　専門科目は、選択科目で１科目２単位以上、必修科目である特別演習及び特別研究で計８単位、合計１０単位以上を修得する。

（２）研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

３　修了要件

（１）修業年限

修業年限は３年とする。但し、在学期間は６年を超えることができない。

（２）修了要件

修了要件は、共通科目６単位、専門科目１０単位以上を履修し、計１６単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上、博士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

４　学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

保健看護学専攻　博士（保健看護学）

Graduate School of Nursing for Health Care Science, Doctor of Nursing for Health Care Science

である。

５　長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（３年）を超えて一定の期間（最長６年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、教育支援課入試係（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

表１　教育課程（授業科目と担当教員）

区分	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	修了要件履修単位	担当教員名（◎は主担当教員を示す）	備考
共通科目	[1] 研究方法論特別講義	2	－	１前	６単位	◎郷良淳子、志澤美保、吉岡さおり	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	[2] 生命・医療倫理学特別講義	2	－	１後		◎松岡知子、瀬戸山晃一、森本昌史、郷良淳子	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	[3] 統計方法論特別講義	2	－	１後		◎手良向 聡、堀口 剛、中田美津子	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	小　計（３科目）	6	－				
特別講義	[4] 基盤実践保健看護学特別講義	－	2	１前	２単位以上	◎吉岡さおり、島田順一、滝下幸栄、室田昌子、林容子	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	[5] 広域実践保健看護学特別講義	－	2	１前		◎松岡知子、森本昌史、楠木泉、郷良淳子、志澤美保、毛利貴子、原田清美	ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	小　計（２科目）	－	4				
特別演習	[6] 保健看護学特別演習	2	－	１通	２単位	松岡知子、森本昌史、島田順一、楠木泉、志澤美保、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、滝下幸栄、室田昌子、原田清美、占部美恵	
	小　計（１科目）	2	－				
特別研究	[7] 特別研究	6	－	1～3通	６単位	松岡知子、森本昌史、島田順一、楠木泉、志澤美保、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、室田昌子、原田清美 滝下幸栄、占部美恵	
	小　計（１科目）	6	－				
合　計（７科目）		14	4	16単位以上			

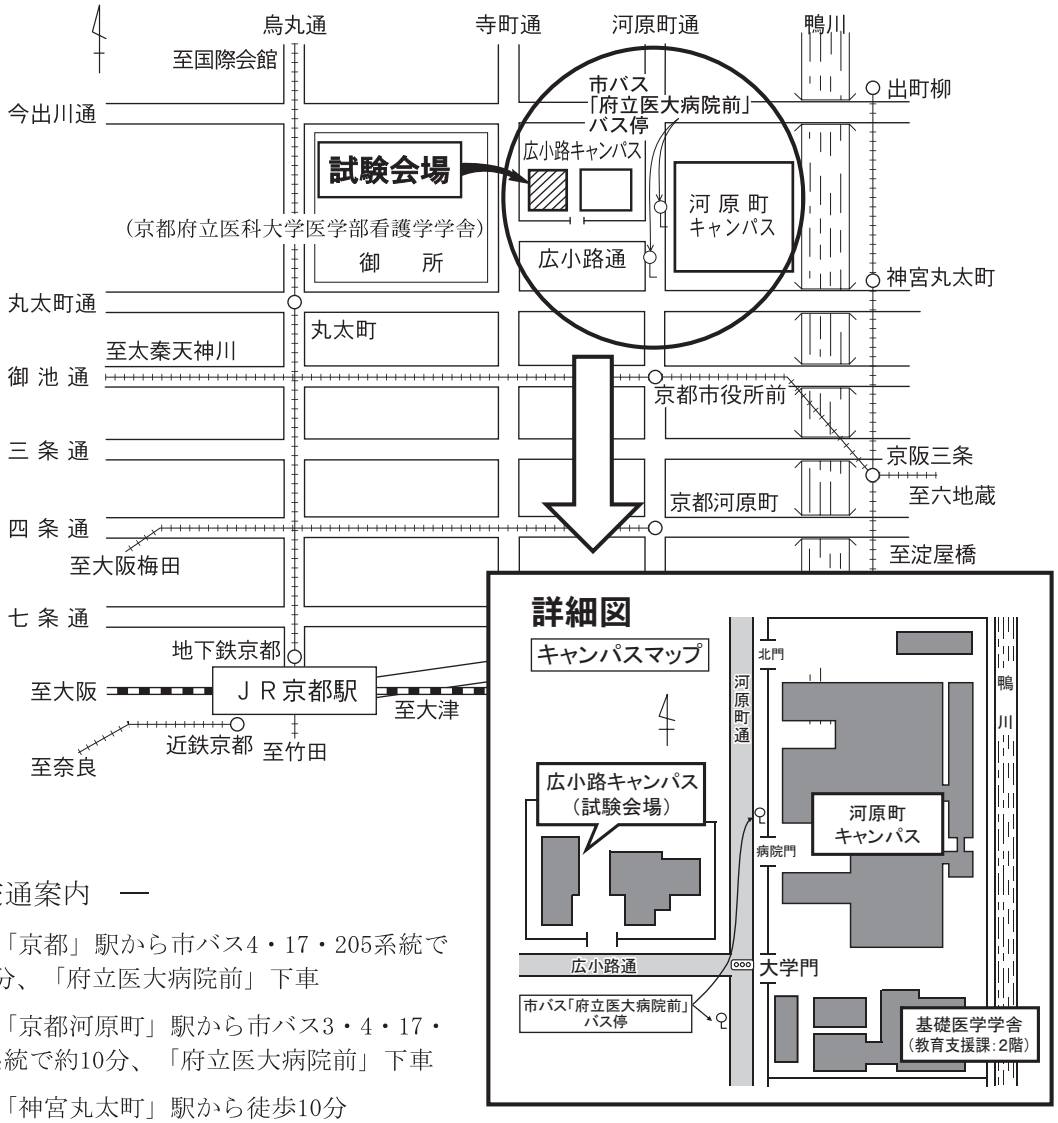
表２　保健看護学研究科博士後期課程 特別研究単位認定教員一覧

研　究　分　野	職　位	担　当　者	備考
基盤実践保健看護学	教授	島田　順一	
	教授	吉岡　さおり	
	准教授	室田　昌子	
広域実践保健看護学	教授	志澤　美保	
	教授	郷良　淳子	
	教授	松岡　知子	
	教授	森本　昌史	
	教授	楠木　泉	
	教授	毛利　貴子	
	准教授	原田　清美	

※　各教員の研究内容は、本学ホームページ
https://www.kpu-m.ac.jp/doc/depatment/hoken-kango/　を参照のこと。

〈入学試験会場案内〉

京都府立医科大学広小路キャンパス内
医学部看護学学舎
京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町４１０番地



— 交通案内 —

◆ＪＲ「京都」駅から市バス4・17・205系統で約30分、「府立医大病院前」下車

◆阪急「京都河原町」駅から市バス3・4・17・205系統で約10分、「府立医大病院前」下車

◆京阪「神宮丸太町」駅から徒歩10分

（注）　試験場内の下見は許可しません。

入学者選抜に関する問合せ先

〒６０２－８５６６

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町４６５番地

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

電話番号　０７５－２５１－５１６７　（直通）

問合せはやむをえない場合を除き志願者本人が行うこと。